

6 - 5 近畿地方の地殻変動

Crustal Movement in the Kinki District

国土地理院
Geographical Survey Institute

近畿地方の水準測量による上下変動について報告する。

(1) 高槻 - 大津間の上下変動

1982年から1983年の1年間の上下変動(第1図)は大津を基準にすると京都、高槻が沈下している。第2図は同じ路線の中で、左側はJ216(京都)からBM221迄、右側はF20(大津)からJ216を通過してBM1296に至る間について累積変動量を図示したものである。

(2) 阪神地区の上下変動

(1)の路線の南西方向への延長である(第3図)。1981年から1982年にかけては茨木を基準にすると大阪方向に隆起が認められる。

(3) 和歌山～柏原間の上下変動

(2)の路線を更に南西方向に延長した路線である(第4図)。(2)の路線からそのまま南に向けて更に隆起が続いているように見えるが、地盤沈下の回復現象とも思われる。

(4) 和歌山市付近の上下変動

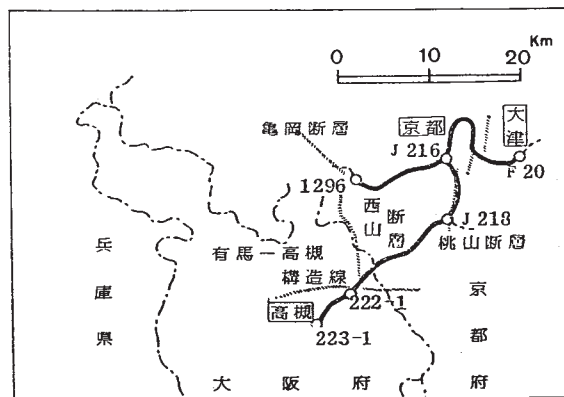
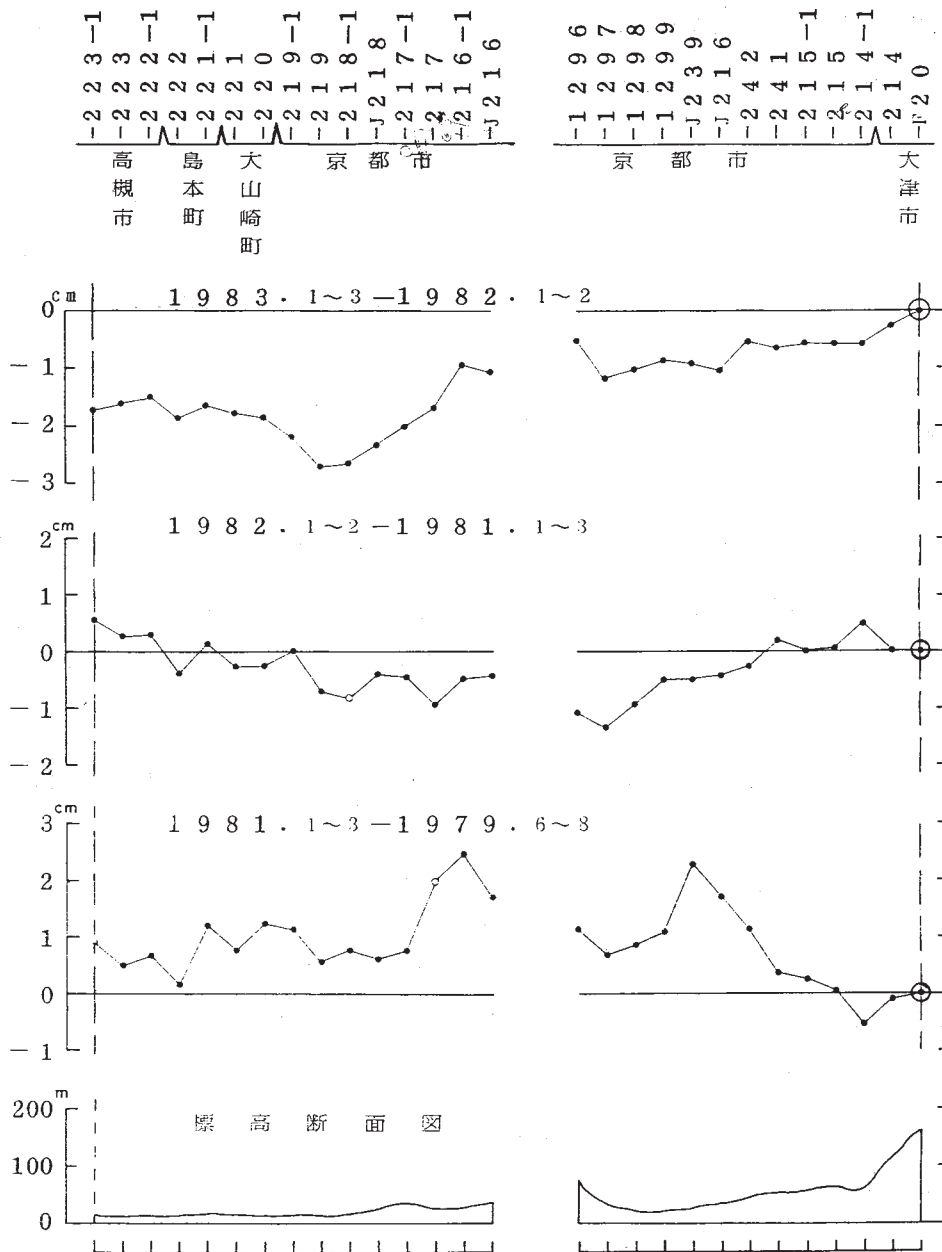
(3)から更に南にのびる路線である(第5図)。今回の測量で特に変動は認められない。

(5) 琵琶湖北精密変歪測量

1982年に設置した放射基線である。観測は1回目であるので、2辺について一次基準点測量(1976年)との比較を示す(第6図)。2辺共変化は認められない。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院：近畿地方の上下変動，連絡会報，28(1982)，279 - 284.



※白又キは改埋点を示す

第1図 高槻~大津間の上下変動

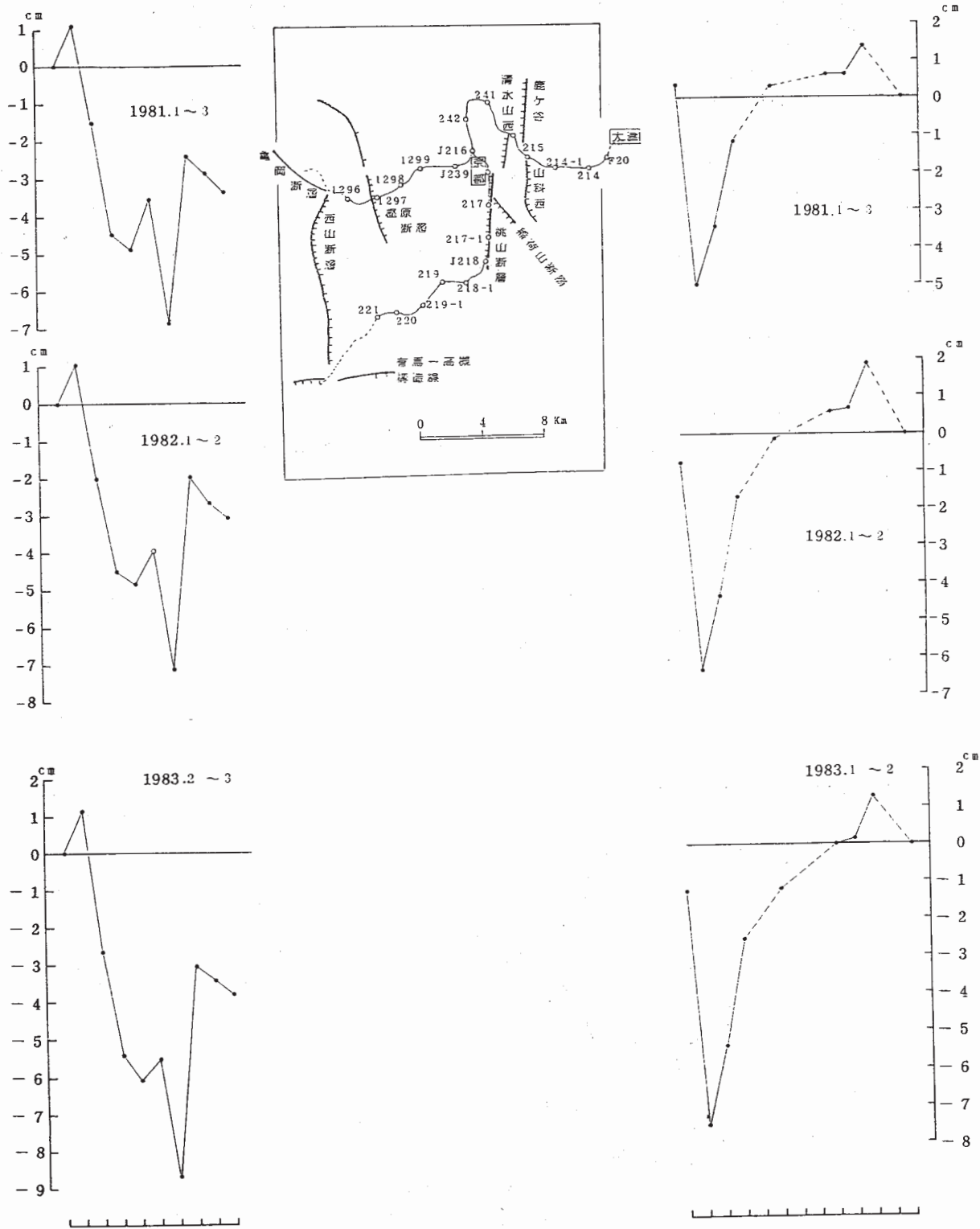
Fig. 1 Level changes along the route from Takatsuki to Otsu.

J216
-216-1
-217
-218
-219
-219-1
-220
-221

基準: J 216.1974.1~2

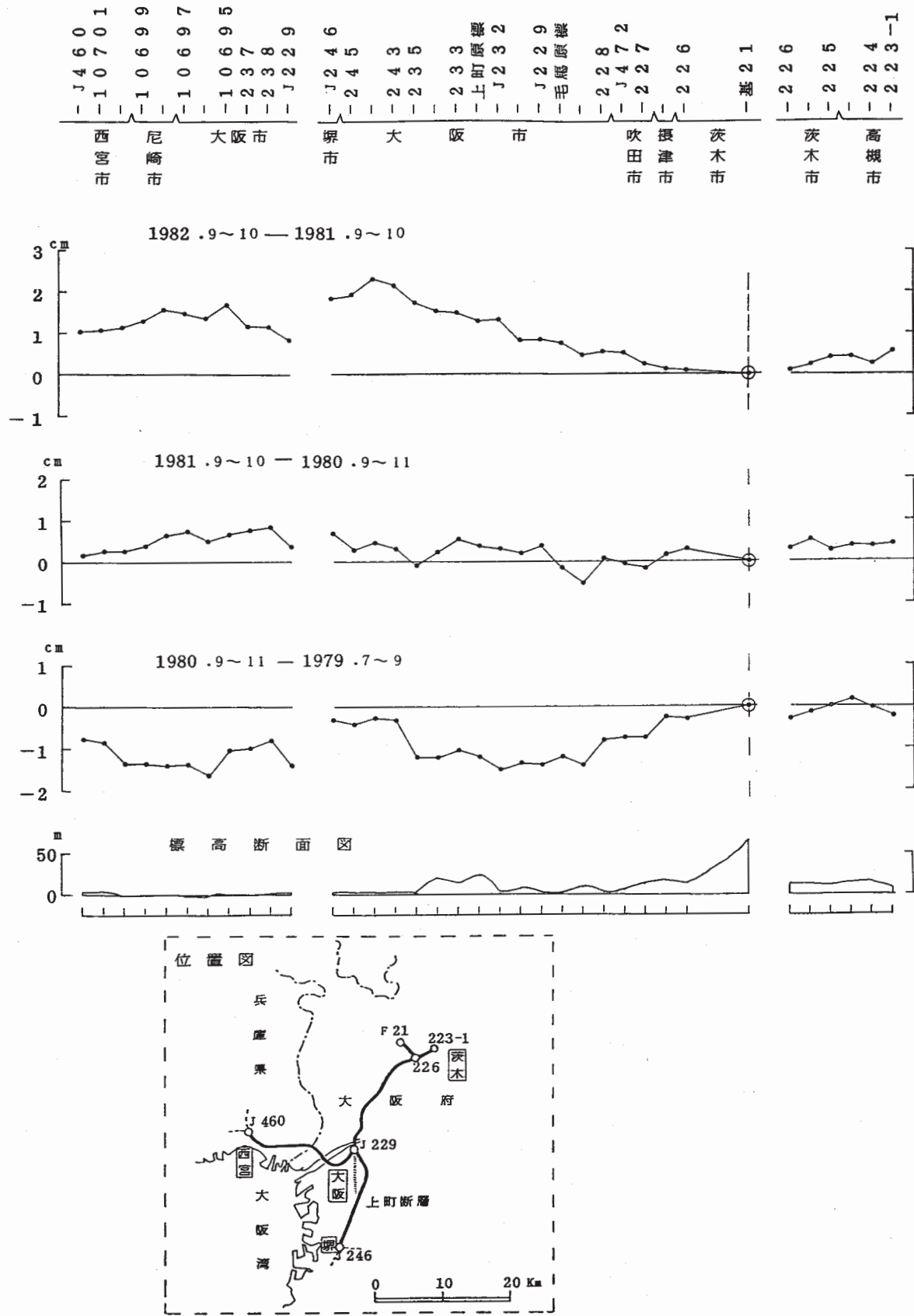
-1296
-1298
-1299
-1239
-1216
-242
-241
-215-1
-215
-214-1
-214
-F20

基準: F 20.1971.11



第2図 京都付近の上下変動

Fig. 2 Level changes in and around Kyoto.

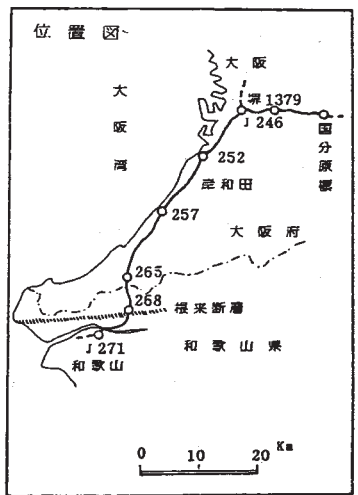
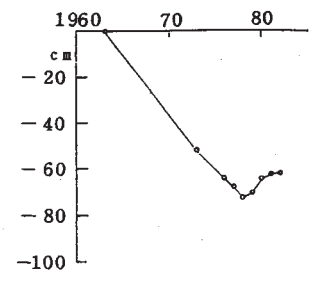
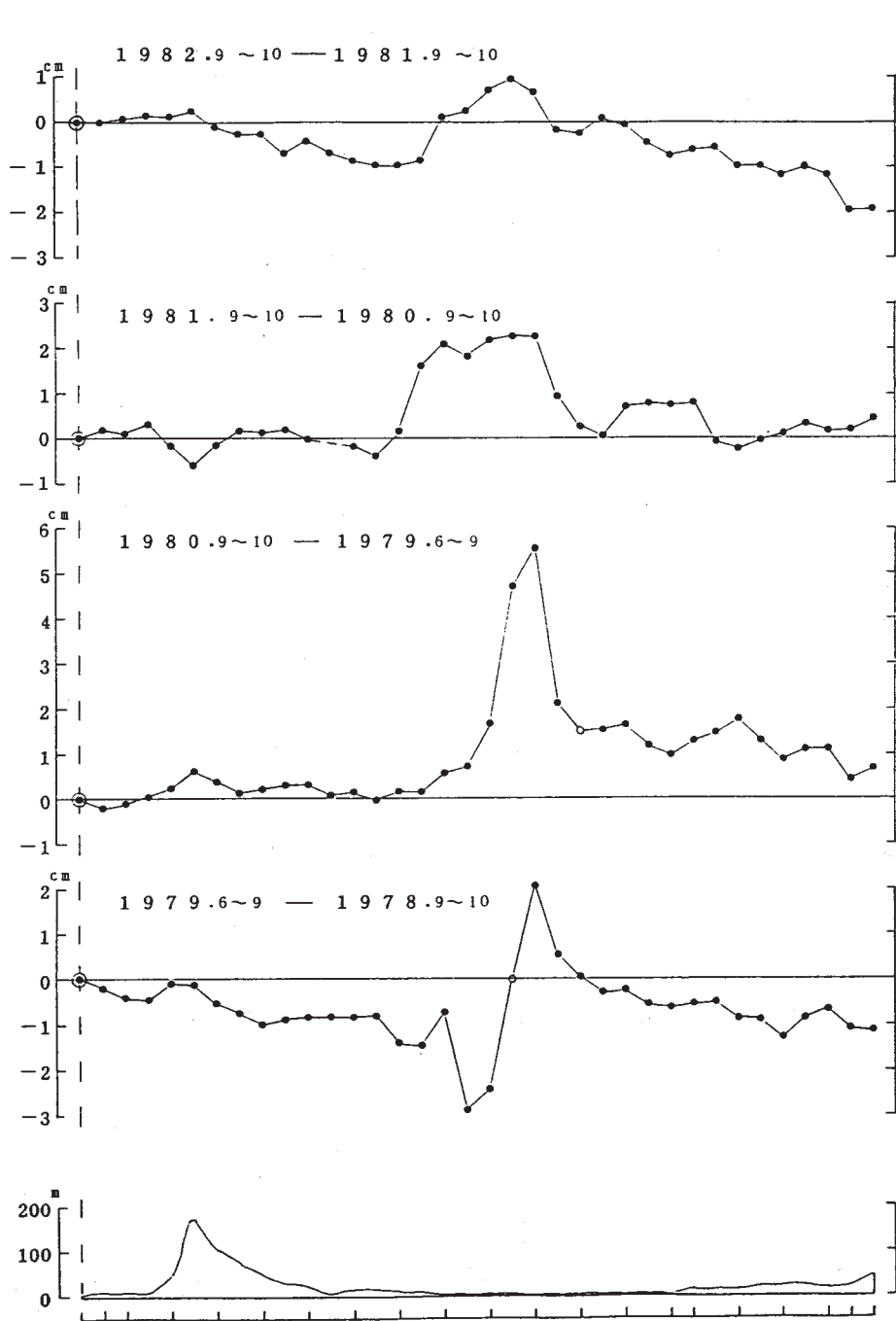


第3図 阪神地区の上下変動

Fig. 3 Level changes in the Hanshin (Osaka - Kobe) region.

J271	-270-1	-270	-268	-266	-264	-262	-260	-258	-256	-254	-252	-250	-248	-J246	-1377	-1379	1381	1383	1384	国分郡
和歌山市			岩出町	和歌山市	阪南市	泉南市	泉佐野市		貝塚市	岸和田市	忍岡町	泉大津市	高石市	堺市		松原市	羽曳野市	藤井寺市		柏原市

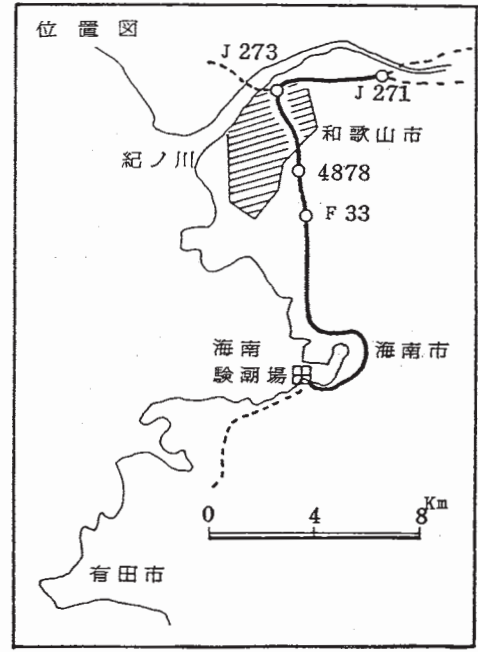
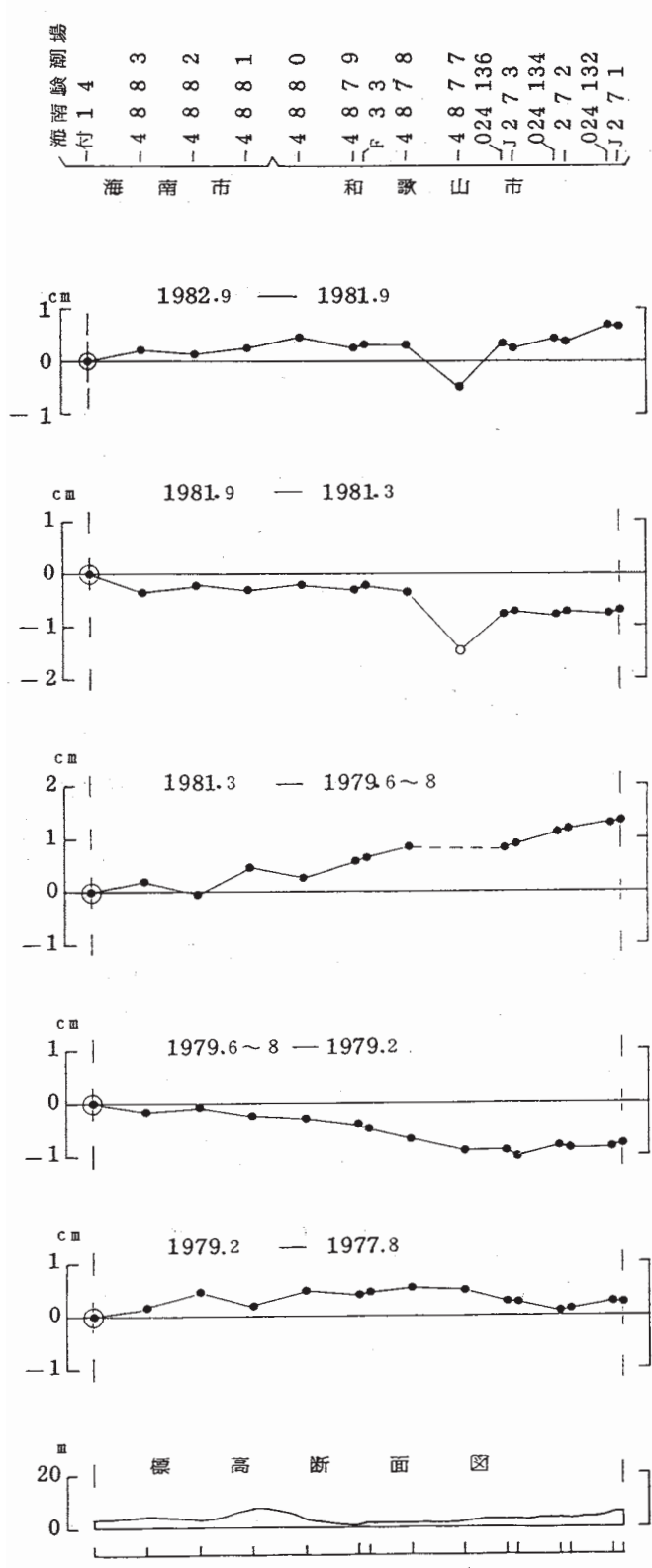
水準点No. 252の経年変化
基準：J271 1963年



白マキは改埋点を示す。

第4図 和歌山～柏原間の上下変動

Fig. 4 Level changes along the route from Wakayama to Kashiwabara.

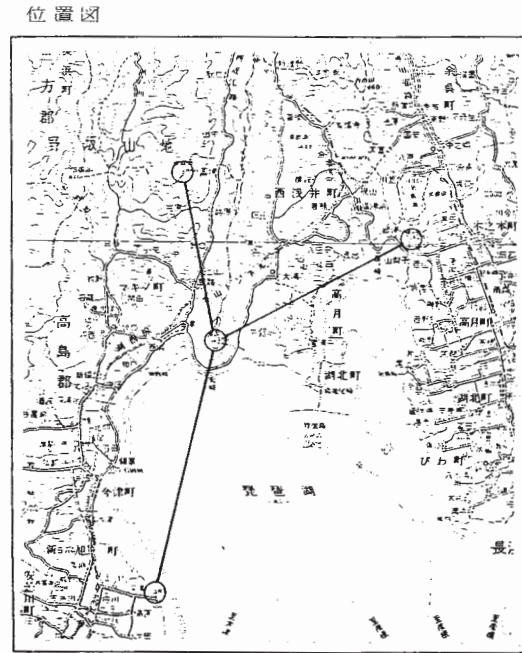
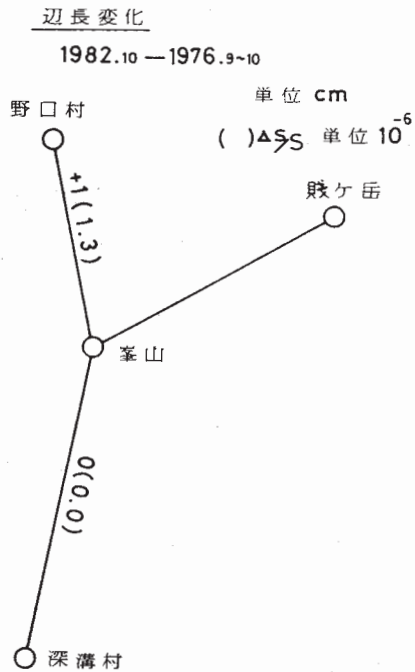
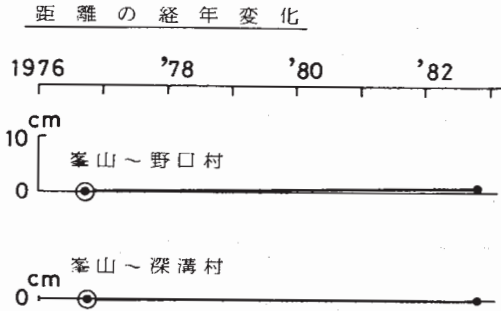


第5図 和歌山市付近の上下変動

Fig. 5 Level changes along the route from Kainan tidal station to Wakayama.

測定年 区 間	I	II	差
1976.9-10	82.10	82.10	II-I
峯山～野口村	m 7892.37	m .38	cm + 1
〆～賤ヶ岳	10267.	.67	
〆 深溝村	11967.95	.95	0

1976年値は、1次基準点測量結果を使用。



第6図 琵琶湖北精密変歪測量結果

Fig. 6 Result of radial base line strain measurements in north Biwako.